

しめんことを。四海一家、永く往来を通ぜしむれば誠に便益と爲すに庶ちかからん。今、奉獻の礼物を將て開坐し移咨す。施行せよ。須らく咨に至るべき者なり。

今開います

官段五匹 青段二十四

腰刀五把 摺紙扇三十把

大青盤二十個 小青盤四百個

小碗二千個 硫黄二千五百斤

右、暹羅國に咨す

宣徳八年（一四三三）九月十八日

礼儀の事

通事梁徳伸

咨

1-40-15

琉球国中山王より暹羅國あて、益沙每等を遣わして自由な交易を請う咨（一四三三、九、一八）

琉球国中山王、進貢の事の為にす。

照得するに、本国は貢物稀少なり。此の為に今、正使益沙每等を遣わし、勇字号海船一隻に坐駕し、磁器等の物を装載し、貴国の出産の地面に前倒して胡椒・蘇木等の貨を収買せしむ。回国し

て謹んで大明の御前に進貢するに備う。仍お礼物を備えて詣前して奉獻し、少しく遠意を伸ぶ。幸希こいねがわくは海納せよ。更に煩わづわくは今、差つかわす人船の自ら買売を行うを寛容し、早すみやかに風に趁のりて回国せしめんことを。今、奉獻の礼物を將て開坐し移咨す。施行せよ。須らく咨に至るべき者なり。

今開います

官段五匹 青段二十四

腰刀五把 摺紙扇三十把

大青盤二十個 小碗二千個

小盤四百個 硫黄二千五百斤

右、暹羅國に咨す

宣徳八年（一四三三）九月十八日

通事鄭智を差わす

1-40-16

琉球国中山王より暹羅國あて、阿蒲察都等を遣わして公正な交易を請う咨（一四三三、一〇、三）

琉球国中山王、礼儀の事の為にす。

今、正使阿蒲察都等を遣わし、礼物を齎送し、貴国に前詣して奉獻せしめて以て微忱を表す。切に領納りやうなつを希ねがう。及び照らすに、

今去く人船の装載する磁器・雑物は、煩為わくは四海一家、遠人を懐柔し、自ら兩平に胡椒・蘇木等の貨を収買するを行つて聴し、早やかに発するを為し風迅に赶趁せしめんことを。回国して応に大明の御前に進貢するに備うべし。庶わくは往来を絶やさざらしめんことを。歳々心を堅くして以て終誓を永くするは豈に美ならざらんや。今、奉献の礼物を將て開坐し移咨す。施行せよ。須らく咨に至るべき者なり。

今開す

官段五匹 青段二十匹

腰刀五把 摺紙扇三十把

大青盤二十個 小碗二千個

小盤四百個 硫黄三千斤 二千五百斤正と官報す

右、暹羅国に咨す

宣徳八年（一四三三）十月初三日

通事梁袖を差わす

咨

注（一）終誓 ほまれを永く持ちつづける。

（二）梁袖 久米村呉江梁氏（亀嶋家）（一家譜（二）七五四頁）。

1-40-17

琉球国中山王より暹羅国あて、歩馬結制等を遣わして公正な交易を請う咨（一四三四、九、二六）

琉球国中山王、見に礼儀の事の為にす。

切に微邦は東海に遠居するも、昔より今に及ぶまで貴国と深交するに縁り、通年遣使して微誠を礼献す。常に累ねて回恵を加うるを以てし、及び四海一家を念以て以て和好を結び永く往来を通ずるを蒙る。此の為に今、正使歩馬結制等を遣わし、専ら礼物を齎し詣前して奉献せしめ、少しく芹忱を伸ぶ。幸希わくは海納せよ。煩望わくは寛仁もて今去く人船の装載する磁器は、兩平に胡椒・蘇木等の貨を収買せしめんことを。回国して以て大明国に進貢するに備えん。発落を為すを請う。早やかに風に趁りて回還せしむれば便益ならん。今、奉献の礼物を將て開坐す。咨して施行を請う。須らく咨に至るべき者なり。

今開す

官段五匹 素段二十匹

摺紙扇三十把 大青盤二十個

小青盤四百個 小青碗二千個

右、暹羅国に咨す

宣徳九年（一四三四）九月二十六日

礼儀の事